

附属教育実践総合センター 「教師のたまご」遊び心と即戦力UPの活動報告

「教師のたまご」4回生の遊び心と即戦力UPグループの今期1回目の活動として、令和8年1月15日(木)および1月22日(木)の2回、大津市立堅田児童館長の小野澤 稔香 先生を講師にお迎えし、「レクリエーション技法を取り入れた人間関係づくり」と題した研修を実施しました。



自己紹介をされる小野澤先生

【講 師】小野澤 稔香 先生
(大津市立堅田児童館 館長)

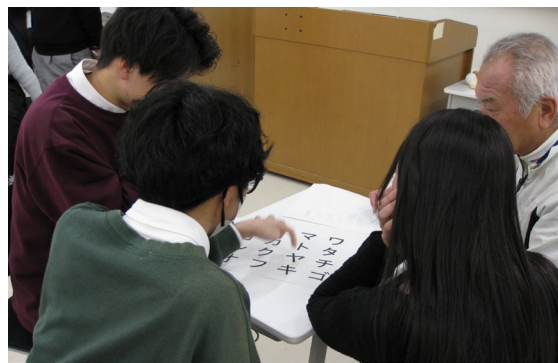
小野澤先生は、大学卒業後から昨年度末まで小学校の教諭を務める中、びわ湖フローティングスクール所長・滋賀県レクリエーション協会副理事長・日本けん玉協会滋賀県支部副支部長などを歴任されました。また、「滋賀の教師塾」でも講師を務めてこられた、遊び心を備えた、優れた実践家の先生です。

令和7年4月からは、大津市立堅田児童館の館長に就任されています。

「レクリエーション技法を取り入れた人間関係づくり」の研修は今年で2年目となりました。昨年度から続けて参加した学生もいれば今回初めての学生もいて、やや緊張気味な雰囲気で始まった研修でしたが、小野澤先生の拍手やけん玉を交えた自己紹介で、一気に和やかな雰囲気に変わりました。小野澤先生から次々に繰り出されるゲームを楽しく体験しながら、もし学級でこういう場面だったら・・・や、もし年齢が低い子どもたちだったら・・・など、いろんな場面に応じ、ルールを変えたりバリエーションを変えたりする工夫や、また、誰もが嫌な気持ちにならない工夫や留意点を教えていただき、参考になることをたくさん学べた、あっという間の90分でした。



レクリエーション体験(その①)



レクリエーション体験(その②)

以下に、当日参加した学生から寄せられたコメントの一部を紹介します。

- ちょっとした遊びで、今まで話したことがほとんどなかった人と繋がれることを強く実感しました。
- 4月の子どもが緊張するなかでこういったレクリエーションを行って緊張をほぐしていきたいと思いました。
- じゃんけんで負けるのが勝ちという、負けやすい子どもへの配慮など、遊びの中にも配慮がされていて、みんなが楽しめるレクリエーションがすごくいいと感じました。
- 現場で使えるものを学べてよかったです。

★教師力養成サークル『教師のたまご』は、教師力の向上をめざす学生の主体性を支援したいと考え、令和5年度から附属教育実践総合センターで立ち上げたサークルです。本活動は、令和6年度から「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部機能強化事業」の一環として実施しています。

★活動は、教育学部附属教育実践総合センター 地域実習担当の高田聡、上畠憲一、横尾博邦の3名の特任教授が担当しています。